



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3504		
科目名	大規模事故論		
担当教員	小林 智之		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	金 3		
講義室	1207	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■DPコード: 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができます。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、問題の解決につなげることができます。</p> <p>■CRコード: 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1 学識と専門技能(70%) 11 理解・分析と読解(30%)</p>		
教員の実務経験	<p>2017年より、文部科学省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」特別研究員として、 2018年より、独立行政法人日本学術振興会特別研究員PDとして、 2019年より、環境省「放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）」研究参加者として、 原子力災害に関わるリスクコミュニケーションの活動および研究を行ってきました。 本授業では、災害後のリスクコミュニケーションについて実務上の知見と経験を生かして、講義します。（第3回、第5回、第7回、第9回）</p>		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>現代社会は高度な科学技術社会であり、この科学技術により人々の生活が便利で快適になっている一方、その科学技術が事故やトラブルを引き起こすことにより人間社会に多大なダメージを与える側面があります。自動車事故や工場での機械事故は日常茶飯事であり、鉄道、航空機などの交通機関による事故がひとたび発生すると多大な犠牲者を発生させます。また、電気、ガス、水道、通信などのライフライン事故が発生すれば、社会機能が麻痺し、原子力発電所や原子力関連施設が事故を起こせば、原子力災害が発生します。この科学技術に起因した災害を技術災害と呼ぶことができるが、こうした技術災害の実態とその被害について、理論的かつ具体的な事例から考察し、その法制度の側面を学びながら、対策について考察します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 キーワード：東京電力福島第一原子力発電所事故、原子力事故、原子力災害、放射線災害</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 東京電力福島第一原子力発電所事故論</p> <p>■授業の目的</p>		

	<p>原子力事故の特徴と東京電力福島第一原子力発電所事故の特徴を理解し、原子力災害の全体像を把握し、原子力防災の意義を理解します。</p> <p>■授業のポイント</p> <p>本授業では、日本での史上最大の大規模事故である東京電力福島第一原子力発電所事故をとりあげます。この災害は、広域・長期の避難、広域・長期にわたる環境汚染といった典型的な技術災害の要素をすべて含んでいます。本講義では、東京電力福島第一原子力発電所事故をさまざまな観点から多面的にとらえることで、大規模事故災害の特徴を明らかにします。</p>														
総合到達目標	福島第一原子力発電所事故の概況および現状を理解・分析し、関連する資料を読解できる技量、それらを説明できる程度の学識を身につけます。また、放射線災害の特徴を理解・分析し、関連する資料を読解できる技量、それらを説明できる程度の学識を身につけます。														
成績評価方法	<p>■リアクション・ペーパー(60%)：コンピテンス・ルーブリック C1・E1</p> <p>■レポート1回(40%)：コンピテンス・ルーブリック H1・H2・K1</p> <p>(評価の観点)原子力事故の特徴と東京電力福島第一原子力発電所事故の特徴を理解し、知識を用いて問題定義と解決方法について考えることを求めます。</p> <p>(フィードバック)リアクションペーパーの意見や質問について各講義の初めに振り返ります。また、レポートについてはポータルサイトを通して課題解説を行います。</p>														
履修条件	特にありません。														
履修上の注意点	特にありません。														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①テーマ オリエンテーション</p> <p>②概要 東京電力福島第一原子力発電所事故をどう理解するか、授業のガイダンスを行います。(D1)</p> <p>③予習(120分) 福島第一原発について自分なりのイメージを振り返ってください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①テーマ 福島第一原発事故の概要</p> <p>②概要 東京電力福島第一原子力発電所事故の概要について議論する。(C1・E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①テーマ コミュニケーションの基本</p> <p>②概要 リスクコミュニケーションの基本として、人間のコミュニケーションの方法について論じる。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1・H1)</p> <p>③予習(120分) 自分がコミュニケーションをとるときにどのようなことを気にかけているのかを振り返ってください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>①テーマ 事故による不安</p> <p>②概要 事故によって生じる不安の問題について議論する。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> <p>①テーマ 事故による避難</p> <p>②概要 事故によって生じる避難の問題について議論する。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p> </td> </tr> <tr> <td>6</td> <td> <p>①テーマ 事故による死別</p> <p>②概要 事故によって生じる死別の問題について議論する。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①テーマ オリエンテーション</p> <p>②概要 東京電力福島第一原子力発電所事故をどう理解するか、授業のガイダンスを行います。(D1)</p> <p>③予習(120分) 福島第一原発について自分なりのイメージを振り返ってください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>	2	<p>①テーマ 福島第一原発事故の概要</p> <p>②概要 東京電力福島第一原子力発電所事故の概要について議論する。(C1・E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>	3	<p>①テーマ コミュニケーションの基本</p> <p>②概要 リスクコミュニケーションの基本として、人間のコミュニケーションの方法について論じる。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1・H1)</p> <p>③予習(120分) 自分がコミュニケーションをとるときにどのようなことを気にかけているのかを振り返ってください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>	4	<p>①テーマ 事故による不安</p> <p>②概要 事故によって生じる不安の問題について議論する。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>	5	<p>①テーマ 事故による避難</p> <p>②概要 事故によって生じる避難の問題について議論する。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>	6	<p>①テーマ 事故による死別</p> <p>②概要 事故によって生じる死別の問題について議論する。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
回	内容														
1	<p>①テーマ オリエンテーション</p> <p>②概要 東京電力福島第一原子力発電所事故をどう理解するか、授業のガイダンスを行います。(D1)</p> <p>③予習(120分) 福島第一原発について自分なりのイメージを振り返ってください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見なおしながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>														
2	<p>①テーマ 福島第一原発事故の概要</p> <p>②概要 東京電力福島第一原子力発電所事故の概要について議論する。(C1・E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>														
3	<p>①テーマ コミュニケーションの基本</p> <p>②概要 リスクコミュニケーションの基本として、人間のコミュニケーションの方法について論じる。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1・H1)</p> <p>③予習(120分) 自分がコミュニケーションをとるときにどのようなことを気にかけているのかを振り返ってください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>														
4	<p>①テーマ 事故による不安</p> <p>②概要 事故によって生じる不安の問題について議論する。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>														
5	<p>①テーマ 事故による避難</p> <p>②概要 事故によって生じる避難の問題について議論する。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>														
6	<p>①テーマ 事故による死別</p> <p>②概要 事故によって生じる死別の問題について議論する。(E1)</p> <p>③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>														

	<p>①テーマ 事故による差別</p> <p>②概要 事故によって生じる差別の問題について議論する。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1)</p> <p>7 ③予習(120分) 日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」の中で関心のある箇所を重点的に読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ リスクコミュニケーション：政府や自治体</p> <p>②概要 政府や自治体が行ったリスクコミュニケーションについて概説する。(E1)</p> <p>8 ③予習(120分) 第4回～第7回の講義を復習してください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ リスクコミュニケーション：専門家</p> <p>②概要 リスクコミュニケーションの概念やメカニズムについて議論する。担当教員の実務経験を踏まえて講義します。(E1・H1)</p> <p>9 ③予習(120分) 第8回で紹介した政府や自治体のリスクコミュニケーション活動について、自分がリスクコミュニケーションに参加した際にどのように感じるのかについて考えをまとめてください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ 事故後の賠償金</p> <p>②概要 原子力損害賠償法とそれに基づく原子力損害賠償制度についての理解を深める。(E1)</p> <p>10 ③予習(120分) 福島第一原発の賠償金問題について触れた新聞記事を探してください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ 事故後の廃棄物問題</p> <p>②概要 原子力災害における放射性廃棄物問題について論じる。(E1)</p> <p>11 ③予習(120分) 福島第一原発の廃棄物問題について触れた新聞記事を探してください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ 事故後の産業と風評被害</p> <p>②概要 原子力災害における産業被害とその原因について論じる。(E1)</p> <p>12 ③予習(120分) 『風評被害－そのメカニズムを考える－』を読んでください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ 認知バイアスと心理的反応</p> <p>②概要 人間の認知バイアスについて議論する。(E1・H1)</p> <p>13 ③予習(120分) これまでの講義内容について自身の理解にバイアスがないか考えをまとめてください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①テーマ 事故からの回復を考える</p> <p>②概要 これまでの講義を踏まえて、問題の提起や解決方法について考える。(H1・H2)</p> <p>14 ③予習(120分) これまでの講義内容について復習してください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。質問や意見がある場合はリアクションペーパーに記載してください。</p>
	<p>①課題の説明</p> <p>②レポート課題の作成方法について解説します。(K1)</p> <p>15 ③予習(120分) 大規模事故に対して行われたまたは計画された対策について批判的な思考で自分なりの考えをまとめてください。</p> <p>④復習(120分) 講義資料を見直ししながら、自分の考えをまとめてください。</p>
関連科目	ありません。
教科書	特に指定していません。
参考書・参考URL	日本原子力研究開発機構「事故調、日本政府、東京電力発表報告書」 [online] http://tenkai.jaea.go.jp/sanko/hokokusyo-jp.html

	国会図書館「福島第一原発事故と4つの事故調査委員会」 [online] http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_3526040_po_0756.pdf?contentNo=1 『風評被害－そのメカニズムを考える－』 光文社新書
連絡先・オフィスアワー	連絡先 : kobayashi.tomoyuki@nihon-u.ac.jp オフィスアワー : ありません。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント80% ; パブリックセキュリティ10% ; グローバルセキュリティ10% ; 情報セキュリティ0% ■ 危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80% ; 法学20%



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.